

## 新刊紹介、植物関連雑誌のタイトル紹介、会記ほか

雑誌名	植物地理・分類研究
巻	53
号	2
ページ	219-232
発行年	2005-12-30
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/00049791">http://hdl.handle.net/2297/00049791</a>

## 新刊紹介

○ 富山 稔(文・写真), 大場秀章(監修): **世界のワイルドフラワー I, II A4判変形, I巻 264頁, 2003年 11月 28日, II巻 272頁, 2004年 4月 27日, 学習研究社, 各巻 3,800円。**

本書は、旅行で訪れる主に花の多い地域の約 800 種の植物の写真、分布、花期、高さ、花径、特徴などについて述べたものである。I では地中海に面したヨーロッパ、アフリカ、II ではアジア（一部ヨーロッパも）、オセアニア、北米、南米の主な花の多い所をとりあげている。全世界の植物 27 万種以上と言われる数からは程遠いが、海外に出るとその土地ではありふれたものでも、科属の見当さえ付きにくいものである。そのような意味では海外の植物への入門書と言える。ただし、草本が中心なのでもの足りない向きもあろう。当然特産種も取り上げている。少し内容を検討してみると、トルコは I の地中海ヨーロッパにあり、イリス、ヒヤシンス、ムスカリ、シクラメン、アネモネ、クロッカス等の原産地のひとつだ。東部アナトリア地方が主だが、トルコの西半分あるいは他の国と科はもちろん、属のレベルでは共通するものもある。その国の地図を小さく、また風景写真を最初に載せて、代表的な植物を写真と記述で紹介している。

ヒマラヤは範囲が広いが、東のブータンから西のパキスタンまで、それぞれの国、地域毎に紹介してある。西の独立峰ナンガパルバット (8,125 m) に附随するデオサイ高原の植物、インドのナマリ地方シッキムのポリゴヌム・アフィニス属ではデオサイ高原にも共通する。ブータンのツリフネソウ、ロドデンドロンもヒマラヤ一帯に共通する。

カナダでは、エリトロニューム、キプリペディウムは良く知られてはいるが現物を見るとその美しさは格別なものがある。

ボリビアのヘリコニア、クレオメ、フクシアなども園芸化されてはいるが、一度は原種を見ておきたい。チリー／アルゼンチンの多様化したスミレは十分検討に値する。またアタカマ砂漠の、クリスタリアが分化しているのも面白そう。

アフリカについては、ケニア、タンザニア、ケープタウン、マナクアランド、マダガスカルなどその植物は、アジアで見られないので食指をそそるものがある。オセアニアではオーストラリアのラン、ニュージーランドは白い花が圧倒的に多いという。

一般的な記述の他に、モノグラフ、コラムも読んでいて楽しい本である。

(植之原耕治)

○ 大川浩平: **遠山無限—中学校理科教師としての歩み— A4判, 489頁, 2005年 9月 22日, 自費出版。**

大分県の中学の理科の先生を勤められた太川さん、そして草本植物生活史研究プロジェクトの権威である太川さんが古稀を記念して上記の大部な一冊を上梓された。ラモン・イカバールの言葉「書物からは多くの事柄を知り、学ぶことができるが、最も重要なことは直接自然を観察することである。」どんなに自然に忠実な文献記述でも自然ほど大きな力を持っていない、と言うのは誠に印象的であった。

この本の内容を目次から拾うと次のようである。

1. ツリフネソウ属に関する種生物的研究
2. 福岡市郊外の溜池のプランクトン研究
3. 古処山自然調査
4. 古処山に関する資料
5. 物質変化を中心とした実践観察の実際
6. 古処山雑記
7. みどりの保安官になろう
8. 国道 322 号線バイパス計画と植生調査
9. 自然環境調査

この本を入手し、一読されたい方は著者宛てに照会されたい。著者の住所は〒820-0303 福岡県嘉穂郡嘉穂町中益 283

(清水建美)

○ 花明山その: **草木によせて A5判, 325頁, 2000年 5月 3日, 天声社, 2,800円。**

本書は、125 の植物を季節に分け、随筆風に書かれた本である。

著者は、京都府亀山市の花明山植物園の園長であり、大本教の 4 代教主でもあった人である。5 年前に出版された本で、新刊ではないが、興味をそそられた本なので、紹介したい。

花明山植物園は、亀山市の市街地にあり、植物は限られたものが植栽されているに過ぎないだろうと思っていたが、その予想に反してすばらしい植物園であった。園は、明智光秀の築城の亀山城にあり、森や湿地があり、栽培植物も千種近くあるという。園は一般に開放され、年中無休で、無料である。

本書は、序にかえて、春、夏、秋、冬、花明山植物園、索引、あとがきからなる。それぞれの季節のもとに植物を 1 種ずつ取り上げ、その植物の形態、生育地、分布、名前の謂れ、類似植物との区別点、利用、等を思い付くまま書かれている。私はやや田舎の出身ではあるが、この著者ほど植物と密着した生活をしてこなかった。植物との係わり合いは、一概に都会育ち、田舎育ちという言葉では片付けられないことを強く感じた。

植物毎に挿入されているカラー写真はすばらしい。カットの絵や本の装丁，春，夏，秋，冬の題字など，粋を極めている。  
(鳴橋直弘)

○ 益村 聖：原色 九州の花・実図譜Ⅱ B5判変形，126頁，2005年8月13日，海鳥社，4,200円。

本書は，九州に生育する花や実を付けた植物の原色画集である。

著者は，中学校教諭をされた方で，主としてカヤツリグサ科スゲ属とイネ科を研究され，2003年11月に海鳥社から原色 九州の花・実図譜Ⅰを出版されている。本シリーズは5集で完結という。

この巻は，ツツジ科コケモモからラン科キバナノセッコクまで，173種（うち変種5）が収録されている。1頁に1種か2種が描かれ，スケールが入っている。絵は独特の画風で感心するほど清らかで美しい。描かれた植物の実物を野外で見て知っている読者には，描かれた絵は心を打つだろう。  
(鳴橋直弘)

○ 笹川通博：新潟県佐渡における植物分布図集 分布上特徴ある植物 A4判，277頁，2005年8月31日，積雪地域植物研究所，非売品。

本書は，佐渡で分布上特徴ある植物を取り上げ，その分布図を示したもので，同著者による『新潟県佐渡における植物分布図集 暖温帯性常緑植物 2001』，『新潟県佐渡における植物分布図集 日本海要素の植物 2003』，『新潟県佐渡における植物分布図集 高山・深山の植物 2004』に続く佐渡に関する最後の分布図集だと言う。

シダ植物のイッポンワラビから単子葉類のコケイランまで75種につき，登載標本リスト（産地名，標高，保管者の略号，標本番号，採集年月日）があり，続いて分布の最高地点，分布の最低地点，越後分布，全国分布，分布図（新潟県植物分布図集での集数，植物番号等），およびノートがある。分布図は，佐渡の水平分布図を中心に，その左側に大佐渡，右側に小佐渡における垂直分布図を配している。

正確に同定された標本に基づく分布図は価値の高いものであり，佐渡は日本列島のなかでも特徴ある地域であり，利用価値のある本である。入手希望者は新津植物資料室（〒956-0816 新潟市新津東町2丁目5-6 新津地域学園内）に問い合わせること。  
(鳴橋直弘)

○ 井上 守：津軽半島の植物 A5判，318頁，2005年9月1日，青森文芸協会出版部，2,600円。

本書は，津軽半島の植物を700枚余のカラー写真で解説した本である。

植生（植生とは，日本の植生概況，津軽半島の植生概況），山地の植物（津軽半島山地植生，低地山地森林植生，ブナ林の植生，山頂付近の植生，半島北西部地域の植生，山地の植物解説），平野部の植物（屏風山の植生，岩木川原の植生），海岸の植物（海岸の植生），人里の植物（人家近くの植生，人家付近の植物の解説）の章立てからなる。著者は，小学校や中学校の教壇に立つ傍ら，40余年に渡り，野外での調査をもとに本書を上梓したという。

本書には，ヒメホテイラン，ヒメイズイ，オクトリカブト，クロバナエンジュ，エゾチャルメルソウ等の花や，ツルコケモモやホロムイソウ等の果実が見られ，西日本に住んでいる読者には珍しい植物が出ている。また，ニッコウキスゲ，ノハナショウブ，マイズルソウ，ミズバショウ，エゾオグルマ等の大群落はさすが津軽であるという景色の写真である。この本の特徴は，植生を中心にそこに生育している植物を解説している点である。また，地元に着目した植物の話題もあり，津軽半島の植物を理解する上で最適の本である。購入希望者は，青森文芸協会出版部（〒037-0004 青森県五所川原市唐傘柳藤巻467 TEL 0173-35-5323）に申し込まれるとよい。  
(鳴橋直弘)

○ 橋本光政：ひょうごの巨樹・巨木100選 A4判，203頁，2005年10月，兵庫県林業会議，2,500円。

本書は，兵庫県内の巨樹・巨木を108本選び，カラー写真で解説した本である。

巨樹・巨木100選目録と特集目録，巨樹・巨木の写真108点，巨樹と人とのかわり特集1～23，巨樹・巨木100選 項目詳解，兵庫県の主な巨樹・巨木データパンクー覧，写真のデータ一覧が，この本の主な項目である。巨木の写真の中には，そこが子供達の遊び場になっていたり，神社やお寺の境内で人々の生活の息吹きを示しているものが見られる。写真は大判なので迫力があり，巨木の巨木である様子が感じられる。23頁に渡る「特集」は面白い企画であるが，説明文が短く，私には物足りなさが残る。この本で取り上げられた108本の巨木の解説部分（名称，和名，学名，分布等，種の特徴，所在地，様子，ノート，参考等）は詳細で，良く書かれている。兵庫県での巨木に関する本ではあるが，他の県でも参考にできる本と思われる。入手希望

者は、兵庫県林業会議（〒650-0012 神戸市中央区北長狭通 5 丁目 5-18 兵庫県林業会館内 TEL 078-351-3341）に申し込むと、頒価+送料で購入できる。（鳴橋直弘）

○ 藤本義昭：イネ科植物の葯 A4 判，336 頁，2005 年 11 月，自費出版。

本書は、イネ科植物の葯についての形態学的観察の本である。

本の前半は、はじめに、資料の収集方法、イネ科植物葯の観察器具と葯の観察部位、イネ科植物の雄しべの数と構造、葯の大小、葯の形、孔開型の葯を持つ仲間、縦裂開型の葯を持つ仲間、葯の色、大きさなどによる種の違い、閉鎖花、イネ科植物の雄しべの数と型と大きさ、雄しべも雌しべも無い（0 個）イネ科植物、雄しべが 1 個のイネ科植物、雄しべが 2 個のイネ科植物、雄しべが 3 個で葯が縦裂開型のイネ科植物、雄しべが 3 個で葯が孔開型のイネ科植物、雄しべが 3 個で葯の先端に毛を持ち葯は縦裂開型のイネ科植物、雌雄異株のイネ科植物、雌雄異花で 6 個の雄しべを持つイネ科植物、雌雄異花で 6 個の雄しべを持つイネ科植物、雌雄同花で雄しべが 6 個のイネ科植物、閉鎖花のイネ科植物、の項立がある。後半は各種の解説である。属の解説に続いて種の解説がある。今までの文献もあげられ、産地によってサイズに差がある時は変異がグラフで示されている。タルホコムギ属からシバ属まで、合計 106 属が出ている。最後に葯のカラー写真が 29 頁に渡って掲載されている。

私は、イネ科の葯についての分類学的形質評価は専門外でできないが、これだけ多くの種の葯についての情報が集積された本はなく、その関係者には有益な本かもしれない。

購入希望者は、株式会社 島印刷（〒657-0843 神戸市灘区大石北町 7-11 TEL 078-871-0757 FAX 078-871-7630）または、藤本義昭氏（〒654-0121 神戸市須磨区妙法寺字岩山 1054-3 TEL & FAX 078-741-9299）に申し込まれるとよい。頒価 3,000 円と送料 1 冊 700 円で入手できる。（鳴橋直弘）

○ 蓮実香佑：「植物」という不思議な生き方 B5 判，235 頁，2005 年 11 月 9 日，PHP 研究所，1,300 円。

本書は、植物を擬人化し、生理、生態、形態、進化を中心に、物語風に易しく書いた本である。

この本は、天然成分でお肌すべすべ、怪獣出現 SOS，アリがいるからアリガタイ，走りたいとは思いません，共生も楽しい，トロイの木馬で侵入せよ，それでも芽が出ない，うなるターボでぶっとばせ，どこまでも上りゆけ，お客様は神様です，この花、あなたに贈ります，花粉と雌しべのラブゲーム，玉手箱を開けたら，濡れ落ち葉の哀歌，冬の時代に勝ち残れ，ブルマンでリフレッシュ，愛の教えは時を越えて，植物は環境の破壊者だった，の見出しで書かれている。キーワードとして，菌と植物，昆虫と植物，アリ植物，共生，種子散布，種子発芽，光合成，つる植物，花生態学，受精，エチレン，紅葉，越冬，フィトンチッド，古代植物，地球と植物が考えられる。

マメ科植物と根粒菌の共生で，土中の根粒菌が根毛の先端にたどり着き，入って行く様子やマメ科植物が最初に根粒菌をどのように受け入れたのかの話。畑の真中にいきなり見たこともない帰化植物が出現する理由。花粉管が伸びて卵細胞に達するのは助細胞の働きである。ロゼットは越冬の機能的なスタイルである。被子植物のスピーディな進化に，裸子植物を餌としていた恐竜が，追いつけなかったことが恐竜の絶滅した理由のひとつである。など，興味あることが書かれており，植物地理学や植物分類学の専門的な本ではないが，面白い読み物として紹介したい。（鳴橋直弘）

○ 斜里町立知床博物館（編）：しれとこライブラリー⑥ 知床の植物Ⅰ A5 判，238 頁，2005 年 11 月 16 日，北海道新聞社，1,800 円。

本書は，世界遺産に登録が決定された北海道知床半島の植物を多くのカラー写真を使って解説した本である。

知床の植物は，次に刊行予定の知床の植物Ⅱ（山地や海岸の植物，植物と野生動物との関わり）とで構成されている。

本は次ぎのタイトル（執筆者）からなっている。羅臼岳の植物群落（石川幸男），知床硫黄岳とシレットコスミレ（植木玲一），羅臼岳（浅沼孝夫），シダ植物が魅せる知床半島（佐藤利幸），知床の植物「概況」（佐藤 譲），高山植物（佐藤 譲），保護への提言（佐藤 譲），知床岳と知床岬（鯨島淳一郎）。

羅臼岳の植物群落で，優占度と群度，垂直分布と水平分布，暖かさの指数などの説明があり，初心者にも理解し易い。知床半島に約 60 種のシダ植物が生育しているのには驚かされた。知床の植物の研究史は，植物相と植生に分け，解説されていて，成功している。1952 年の鯨島氏の知床岳の植物調査記録を読むと，現在との落差を感じて面白い。一般にオムニバス風の本は，重複部分が生じてしまうが，この本はほとんどない。巻

末に、知床植物文献リストがあり、さらに詳しく知りたい読者には、好都合である。本書は、読み易く、写真も綺麗であり、知床の植物を理解する上で良い本である。(鳴橋直弘)

○ 渡辺典博：**続巨樹・巨木** B5 変形判，487 頁，2005 年 12 月 1 日，山と溪谷社，3,600 円。

本書は、1999 年の同著者，同出版社の『巨樹・巨木』の続編で、前回で漏れた日本全国の 846 本の巨木を写真で紹介した本である。

各頁には、カラー写真に加え、巨木の名称、樹高、幹周り、樹種、推定年齢、指定、所在地、管理者、およびノートがあり、巨木の場所を示す簡単な地図もある。

巨木の定義を「地上約 130 センチの位置での幹周りが 300 センチ以上の木。地上 130 センチの位置において幹が複数に分かれている場合には、それぞれの幹周りの合計が 300 センチ以上あり、主幹の幹周りが 200 センチ以上あるもの」と環境庁が示している。それをもとに、今回も北海道から沖縄まで、写真を撮るために生活用具を一式車に積み込んで、夫婦で日本中を回られた結果の本だと著者は書いている。写真は鮮明で綺麗であるが、それ以上に生えている場所の雰囲気が出ていて、一段と巨木の巨木らしさが出ている。最後の樹種別索引を見ると、イチョウ、クスノキ、ケヤキ、サクラ、スギなどに巨木があることは当然であるが、トネリコ、イスノキ、メグスリノキ、グミ、ボケ、サラサドウダン、チャなどが出ているのは驚きである。

(鳴橋直弘)

○ Michael G. Simpson：**Plant Systematics** A4 判，590 頁，2005 年 9 月，Elsevier Academic Press，69.95 米ドル。

本書は、英文で書かれた大学生用の植物分類学の教科書である。

本は、4 つの部分で 18 章：Ⅰ．分類学（1. 分類学概論，2. 系統学），Ⅱ．進化と多様性（3. 緑色植物の進化，4. 維管束植物の進化，5. 木本植物と種子植物の進化，6. 被子植物の進化，7. モクレンの仲間と単子葉類の分化と分類，8. 双子葉類本体の分化と分類），Ⅲ．分類形質と記載用語（9. 形態学，10. 解剖学と生理学，11. 発生学，12. 花粉学，13. 繁殖生物学，14. 分子系統分類学），Ⅳ．リソース（15. 同定，16. 命名，17. 収集と文書化，18. ハーバリウムと情報処理）から構成されている。

従来分類学で用いられる形質は、大形形態から始まり小形形態、生化学的成分が取り上げられ、今日遺伝物質の DNA が主となりつつある。本書では、DNA Sequence, RFLPs, Allozymes, Microsatellite DNA, RAPDs, AFLPs が説明されている。また、系統学での分岐分類学的手法は章立てで取り上げられ、解説されている。各章の最後には、総括質問、練習問題、参考書があり、学生には便利である。付録として、記載の仕方、形態用語リスト、記載の例、植物画の描き方、アメリカを中心とする有名なウェブサイトが出ている。

約 2,500 の線画と約 1,700 のカラー写真があり、理解しやすくしている。また、進化上獲得した形質で大きな植物群の系統関係をクラドグラムで示している点、約 100 科の被子植物の大きな科の説明があること、分類学の記載用語を図とともに説明している点などが特徴的である。13 章の繁殖生物学で倍数体と雑種は書かれているが、染色体や核型は全く触れられていない。もしマイヤーらの生物学的種概念が重要であるとすれば、細胞学的データは割愛しても、細胞遺伝学的手法は削ることができない事柄である。Tod F. Stuessy の *Plant Taxonomy* (1990) に比べると、本書は理論的側面が減り、扱っている分類学的形質の分野も狭くなったが、読者には分かり易くなっている。(鳴橋直弘)



## 植物関連雑誌のタイトル紹介

(括弧内は頁数を示す。雑誌によっては編集部で植物自然史関係のもののみ選択した。雑誌の閲覧を許可された富山市科学文化センター、富山県中央植物園に感謝いたします。掲載を希望される方は、雑誌を編集部までお送り下さい。)

## ○ 上士幌町ひがし大雪博物館研究報告 第27号 2005年3月

(〒080-1403 北海道河東郡上士幌町字糠平 上士幌町ひがし大雪博物館)

丸山まさみ・丸山立一：大雪山国立公園、然別湖北部地域に2004年台風18号による風倒木被害の一例(9-16)  
／川辺百樹・鏡 坦：大雪山国立公園、音更川上流域における巨木目録Ⅰ(17-20)

## ○ 秋田自然史研究

(〒010-0873 秋田市千秋城下町8-18 田中政行方 秋田自然史研究会)

第47号 2004年2月—沖田貞敏：刈和野南部沼地の植物について(1-10)／菊地卓弥：秋田県でのオオニシキソウの新産地(27)／菊地卓弥：ホッスモの新産地(28)／豊島美津秋：秋田県新産の帰化植物2種(30)  
第48号 2004年11月—菊地卓弥：十和田湖の水草—ササエビモの記録(1-3)／菊地卓弥：秋田県新産の帰化植物—トゲナシムグラ(アカネ科)(4)／高田 順：秋田県フロラ資料(16)(5-8)

第49号 2005年2月—高田 順：秋田県におけるホシクサ属植物の問題点(5) —イヌノヒゲ、シロイヌノヒゲ、ミカワイヌノヒゲ—(1-5)／沖田貞敏：秋田県植物分布資料(6)(6-7)

## ○ 福島生物 No. 48 2005年8月

(〒960-1296 福島市金谷川1 福島大学教育学部生物学教室内 福島県生物同好会)

五十嵐 彰：植物短信2—テンゲノコヅチについて(17-18)

## ○ 茨城県自然博物館研究報告 第8号 2005年3月

〒306-0622 茨城県坂東市大崎700 ミュージアムパーク茨城県自然博物館)

太田俊彦：ミュージアムパーク茨城県自然博物館野外施設の植物相について(67-82)

## ○ 食虫植物研究会々誌 第56巻

(〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20 日本歯科大学生物学教室内 食虫植物研究会)

1号(通巻190号) 2005年1月—小堀 弘：ムジナモ3芽から10万株の大群落へ—ムジナモとの出会い最新報告—(4-5)／小宮定志：私の食虫植物自生地遍歴、日本編(11-19)

2号(通巻191号) 2005年4月—外山雅寛：日本におけるハエトリソウの渡来史(35-42)／外山雅寛：日本博物学史上の新知見—「博物館列品目録」の真の刊行年月について—(42-44)／小宮定志：私の食虫植物自生地遍歴、海外編(44-50)

3号(通巻192号) 2005年7月—小宮定志：千葉県産タヌキモ属(71-74)

4号(通巻193号) 2005年10月—片桐義昭：ムジナモの実生繁殖(98-104)／外山雅寛：北海道の低山帯よりムシトリスミレを発見、その1(104-106)／笈田一子：北海道の低山帯よりムシトリスミレを発見、その2(106-109)

## ○ FLORA KANAGAWA No. 60 2005年10月

(〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499 県立博物館内 神奈川県植物誌調査会)

堀内 洋：横浜市神奈川区におけるシチヘンゲの採集例(736-737)／奥津 均：最近気になる植物、アコウ、ヤセウツボ(737-738)／秋山幸也：アレチアザミが増える気配(738)／田村 淳：山北町の丹沢山地山麓の暖地性シダ(739-741)／木場英久：県内のカニツリグサの種内変異(741-743)／金子紀子：クゲヌマラン？多産する(743-745)／佐々木あや子：カタバミの種子(745-746)／吉田三夫：多摩川・中州の植物(746-747)／田村 淳：丹沢大山総合調査における維管束植物グループの調査と2004年度の結果(747-749)

## ○ 横須賀市博物館研究報告(自然科学) 第52号 2005年3月

(〒238-0016 横須賀市深田台95 横須賀市自然・人文博物館)

大森雄治：コショウ（コショウ科）の花部解剖（21-27）（英文）

○ 自然環境科学研究 第 18 巻 2005 年 12 月

（〒220-0102 神奈川県津久井郡城山町原宿 5-15-6 （財）平岡環境科学研究所）

小林朋道・秦野諭示：ブナ科樹木 4 種の堅果に対するアカネズミ *Apodemus speciosus* の行動の差異（15-20）／平岡照代・磯野寿美子・佐々木シゲ子・平岡正三郎：幕山（神奈川県足柄下郡湯河原町）周辺の蘚苔類（21-40）／佐々木シゲ子：畑宿須雲川（神奈川県箱根町）の蘚苔類（47-59）／石井準子・蔵前かつえ：高砂緑地（神奈川県茅ヶ崎市）の蘚苔類（61-66）

○ 新津植物資料室年報 2004 2005 年 3 月

（〒956-0816 新潟県新津市東町 2-5-6 新津市地域学園内 積雪地域植物研究所（新津植物資料室））

石沢 進：分布上顕著な新津の植物（4）（1-5）／石沢 進・朱 雁：新潟県植物分布資料（4）（5-11）／渡辺洋子：佐渡島における植物観察記録 3（12-15）／木村 彰：越後の植物観察記（その 2）（16-18）／清水尚之：亀田郷土地改良区の水草（19-22）／登坂裕一：柏崎市米山町旗持山のミヤコイヌワラビ（23）／登坂裕一：厳冬に咲くマンテマ（24-25）／朱 雁：新潟県における暖温帯常緑樹の短報（3）（26-27）

○ 長岡市立科学博物館研究報告 第 40 号 2005 年 3 月

（〒940-0072 新潟県長岡市柳原町 2-1 長岡市立科学博物館）

櫻井幸枝：故中村一男氏収集植物標本目録（1）（7-38）

○ 富山市科学文化センター研究報告 第 28 号 2005 年 3 月

（〒939-8084 富山市西中野町 1-8-31 富山市科学文化センター）

根来 尚：富山県立山美女平における訪花昆虫調査（1-11）／佐藤 卓・藤平量郎：関東地方の *Pinus parviflora* の地理的変異（81-89）

○ 富山県中央植物園研究報告 第 10 号 2005 年 12 月

（〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田 42 富山県中央植物園）

中田政司・魯 元学・管 開雲・李 景秀：中国雲南省西双版纳における *Begonia palmata* var. *bowringiana*（紅孩児、シュウカイドウ科）自生地の記録、および採集された 6 個体の染色体数（1-8）／兼本 正・兼本正人：台湾から沖縄島に導入されたタイワンハンノキの染色体数（英文）（9-13）／山下寿之：富山県中央植物園内に植栽されたウメの生物季節学的研究（15-22）／董 曉東・三吉一光・神戸敏成：長期保存した日本産ラン科植物 8 種の種子発芽（英文）（23-28）／大宮 徹・魯 元学・王 仲朗・管 開雲：中国雲南省での植物調査記録—2003 年，2004 年調査行程（29-37）／大原隆明・富山県中央植物園友の会植物誌部会：富山県フロラ資料（9）（39-64）／橋屋 誠：富山県高等菌類資料（3）（65-68）／志内利明：ツクシイワシャジンの染色体数（英文）（69-70）

○ 石川県白山自然保護センター研究報告 第 31 集 2004 年 12 月

（〒920-2326 石川県石川郡吉野谷村木滑ヌ 4 石川県白山自然保護センター）

野上達也：別山・市ノ瀬道および観光新道で確認された希少ラン科植物（45-48）／富樫一次：ウリハダカエデ（カエデ科）の訪花昆虫（49-51）／富樫一次：ウバユリ（ユリ科）の訪花昆虫について（53-54）

○ 富士竹類植物園報告 第 49 号 2005 年 8 月

（〒411-0932 静岡県駿東郡長泉町南一色 885 日本竹笹の会）

村松幹夫：リュウセイチク（龍青竹）—オロシマチク×トウチク  $F_1$  の新しい名称—（3-6）／片山 久：岡山県におけるウサンチクの生育状況（25-28）／松本重幸：タケ、ササ日記（2004）（49-52）／濱田 甫：鹿児島県産竹類の新知見（21）（53-61）／三河孝一・中村人史：ネマガリタケ栽培における開花結実（81-82）／若山幸央：モウソウチクの部分開花・2004，及び双生モウソウチクの発生について（83-88）／三樹和博：神奈川県北西部におけるタケ科分布（117-122）／片山 久：岡山県に生育するインヨウチク（131-132）／室井 綽：乗鞍山で笹の実を採る（133-137）／室井 綽：バンブー・ノート（44）（153-164）

## ○ 京都植物 第27巻第6号 2005年9月

(〒606-0026 京都市左京区岩倉長谷町 486 1 F 1-3 田中 徹方 京都植物同好会)

光田重幸：イヌタヌキモの再検討 (6-8) / 村田 源：ユウシュンランを丹後に記録する (9) / 村田 源：絶滅種ヒキノカサの再確認とカンチクの野生発見 (10) / 村田 源・津軽俊介：京都府新産植物 22 (11-13) / 光田重幸：京都府新産外来植物オオバナイトタヌキモ (14-15) / 金辻佳子：南山城村植物方言調査 (15-18) / 西澤公男：スズサイコの花の開閉について (19) / 田中 徹：図鑑は書き換えないで! (20-21) / 日根隆夫：大谷川にサジオモダカ発見 (22)

(前号でご紹介した第28巻第1号、第2号は、第27巻第4号、第5号の誤りでした。お詫びして訂正します。)

## ○ 三重自然誌 第8/9/10号 2004年12月

(〒515-0835 三重県松阪市日丘町 1386-17 清水善吉方 三重自然誌の会/三重県立博物館)

武田明正・山本和彦：宮川源流域に成立するブナ林の林分構造 (1-8) / 佐野順子・山路武夫：松名瀬海岸の海浜地形と植生の成帯構造について (9-12) / 葛山博次：桑名市多度町イヌナシ自生地の保全について (38-42)

## ○ 南紀生物 第47巻第1号 2005年6月

(〒644-0011 和歌山県御坊市湯川町財部 522-2 乾風 登方 南紀生物同好会)

山本修平：紀伊半島におけるイワナンテン (ツツジ科) の分布 (51-53)

## ○ くろしお No. 24 2005年10月

(〒644-0011 和歌山県御坊市湯川町財部 522-2 乾風 登方 南紀生物同好会)

北野一夫：和歌山におけるバクチノキ (バラ科) の分布 (7-8) / 北野一夫：紀ノ川南岸のため池における水草調査 (9-14) / 山本修平：和歌山県のミヤマジュズスゲ (カヤツリグサ科) (16-17) / 北野一夫：和歌山県本宮町 (現・田辺市) で帰化したミチタネツケバナ (アブラナ科) (19)

## ○ 大阪市立自然史博物館研究報告 59号 2005年3月

(〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪市立自然史博物館)

木村全邦・日出幸啓子：近畿地方におけるジムカデゴケの分布 (51-54)

## ○ 倉敷市立自然史博物館研究報告 第20号 2005年3月

(〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1 倉敷市立自然史博物館)

片山 久：岡山県産ヤナギ科植物 I (1-65) / 狩山俊悟：岡山県植物誌資料 (3) 岡山県のツツジ科 (17-31) / 狩山俊悟・小畠裕子・榎本 敬：岡山県新産の帰化植物 (16) (41-44)

## ○ 比婆科学

(〒727-0013 広島県庄原市西本町 1丁目 7-7 中村慎吾方 比婆科学教育振興会)

第216号 2005年7月—太刀掛 優・久藤広志：広島県呉市下蒲刈町と蒲刈町の社叢 (1-50) / 吉野由起夫：高木リスト (2005) と広島県の植物 (61-65) / 中村慎吾：ベニカミキリ、タチバナモドキの花を後食 (68-69) / 中村慎吾：キクスイカミキリ、ノジギクに産卵 (69)

第217号 2005年11月—窪田雄一・窪田正彦：広島県植物誌資料 (7) (1-9, 3 図版)

## ○ 山口県植物研究会会報 Vol. 3

(〒744-0002 山口県下松市上豊井万福寺 真崎 博方 山口県植物研究会)

No. 3 2005年7月—鶴谷 保：植物の分布報告 タキミシダ (1) / 真崎 博：萩市明木一升谷の植物 (1-5) / 真崎 久：植物の分布報告 (8) (5-8) / 真崎 博：山口県産高等植物についての新知見 (9-11) / 真崎 博：失われたヤナギの記録 (12)

No. 4 2005年11月—真崎 久：植物の分布報告 (9) (1-8) / 真崎 博：山口県産アザミ属の5分類群 (2-4) / 真崎 博：山口県産高等植物についての新知見 (4-5) / 真崎 博・真崎 久：下関市 (旧豊田町) 下奎路子大風畑川の植物 (5-7) / 真崎 博：萩市 (旧旭村) 明木一升谷川の植物 (補遺) (8)



## ○ 徳島県立博物館研究報告 第 15 号 2005 年 3 月

(〒770-8070 徳島市八万町向寺山徳島県文化の森総合公園 徳島県立博物館)

小串重治・鎌田鷹人・長谷川賢二：徳島県東祖谷山村落合峠における利用・管理形態の変化とそれに伴う植生の変化 (1-20) / 茨木 靖・木下 覺：徳島県におけるナンカイヌカボ (イネ科) の記録 (83-84) / 茨木 靖・成田愛治・佐治まゆみ：ユノミネシダ (コバノイシカグマ科) の四国における産地 (85-86)

## ○ 長崎県生物学会誌

(〒852-8521 長崎市文教町 1-14 長崎大学教育学部生物学教室内 長崎県生物学会)

No. 58 2004 年 12 月—中西弘樹：長崎県の滅びゆくハマゴウ群落の記録 2 (1-4) / 中西弘樹：長崎県植物誌ノート (27) (5-9) / 馬込琢磨：長与町の植物について (27-28)

No. 59 2005 年 10 月—遊佐匡子・川久保晶博・野添裕一・平島利治：南九十九島海域におけるハマサジの生育状況 (13-20)

No. 60 2005 年 12 月—中西弘樹：長崎県植物誌ノート (28) (13-16) / 池崎善博：オオカナダモの駆除 (除草) (61)

## ○ 熊本博物館館報 No. 17 2005 年 8 月

(〒860-0007 熊本市古京町 3-2 熊本市立熊本博物館)

西田靖子・熊本博物館植物同好会：熊本城内植物相調査 (第 2 報) — 一本丸地域 (2004 (平成 16) 年分) — (61-75)

(編集部 中田政司編)

# 会 記

## 新入会員 (2005 年 8 月～2005 年 11 月)

8 月 1 日 滋賀県琵琶湖・環境科学研究センター 〒520-0022 大津市柳が崎 5-34  
 8 月 29 日 笛田 美香 〒814-0162 福岡市早良区 星の原団地 16-206  
 9 月 28 日 阿部 信之 〒020-0805 盛岡市東新庄 1 丁目 25-26  
 9 月 28 日 赤井 賢成 〒918-8006 福井市足羽上 147 福井市自然史博物館

## 退会会員 (2005 年 8 月～2005 年 11 月)

福井市自然史博物館 〒918-8006 福井市足羽上 147  
 杉山 明子 〒350-1227 日高市女影 1616 埼玉女子短期大学  
 高川 晋一 〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農業生命科学研究科

## 住所・氏名変更及び訂正 (2005 年 8 月～2005 年 11 月)

内藤 和明 〒668-0814 豊岡市祥雲寺二ヶ谷 128 姫路工業大学自然環境科学研究所 → 〒668-0814  
 豊岡市祥雲寺二ヶ谷 128 兵庫県立大学自然環境科学研究所  
 工藤 洋 〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 1-2-1 神戸大学理学部生物学科 → 〒657-8501 神戸市灘区  
 六甲台町 1-1 神戸大学理学部生物学科  
 大角 信介 〒422-8046 静岡市中島 3158 BL TOWN A 103 → 〒175-0091 東京都板橋区三園 1-42  
 -4 スターホーム 21-301  
 政谷 徳治 〒927-0602 石川県珠洲郡内浦町字松波 14-58 甲 2 → 〒927-0602 石川県鳳珠郡能登町字  
 松波 14-58 甲 2  
 松本 雅道 〒869-2301 熊本県阿蘇郡阿蘇町内牧 645 松田アパート 1 号 → 〒439-0019 菊川市半済  
 16-3  
 芝野 将年 〒460-0008 名古屋市中区栄 2-5-13 アイエスビル 5F (株)ブレック研究所中部事務所 →  
 〒550-0003 大阪市西区京町堀 1-7-15 (株)ブレック研究所大阪事務所  
 和田 尚幸 〒311-0105 茨城県那珂郡那珂町菅谷 6127 → 〒311-0105 那珂市菅谷 6127  
 加藤 信英 〒999-7671 山形県東田川郡藤島町古郡字水押 10 → 〒999-7671 鶴岡市大字古郡字水押  
 10

## 引用許可申請書について

本雑誌に掲載された図や写真等を他の印刷物で引用（使用）を希望する場合は、以下の「引用許可申請書」を作成し、学会の庶務幹事宛（〒920-1192 金沢市角間 金沢大学自然計測応用研究センター附属植物園 植物地理・分類学会 庶務幹事 木下栄一郎）に郵送して、許可を得てください。用紙は A4 を使用し、（ ）内を参考に詳しく書いてください。

## 引用許可申請書

植物地理・分類学会 会長殿

年 月 日

貴学会発行の「植物地理・分類研究」に掲載の図表等を引用したく、その許可をお願いいたします。

申請者の住所

氏名

印

1) 使用する「植物地理・分類研究」の巻、頁、著者名、題目、図表の番号

2) 著者の許可の有無

（著者の許可が必要です。許可を得ていない場合は、その理由を記してください。

例：連絡が見つからない、著者死亡等）

3) 使用先の出版物等の内容

（雑誌、本、パンフレット等を使用する場合は、発行元、発行予定数、有料・無料の別等を書いてください。）

## 投 稿 規 定

(2001 年 6 月 11 日部分改訂)

### 編集方針

「植物地理・分類研究」は、植物地理・分類学会機関誌として年 1 巻 (2 号) 刊行される。本会誌は、総説、論文、短報、ノート (新産地情報、観察記録等の雑録) のほか、新刊紹介、追悼文、その他編集委員会が掲載を認めたものを掲載する。本文は日本語または英語を使用。

### 投稿資格

「植物地理・分類研究」に投稿する者は、原則として本会会員 (共著の場合は 1 名以上の本会会員を含む) に限る。

### 原稿の受付

原稿は、投稿規定に従って書かれたものに限り受け付ける。

### 原稿の審査及び採否

投稿された原稿は、2 名 (短報は 1 名) の審査員が審査し、その意見のもとに、編集委員会が採否を決定する。

### 論文の受理

編集委員会がその論文の掲載を可とし、編集委員長がそれを認めた日をもって、その論文の受理日とする。なお、掲載順は編集委員会によって決定するものとする。

### 著作権

本誌掲載の論文、短報、ノート、その他の著作権は、植物地理・分類学会に帰属する。著者は、著作権を委譲する旨の書類を、最終原稿送付時に本学会に提出する。

### 論文の長さ

本論文は、刷り上がりで、図表を含み 8 頁までとする。短報とノート (雑録) は 4 頁までとする。ただし超過頁の組版代 (1 頁につき 6,000 円) を著者で負担する場合には制限しない。

### 原稿の部数

本稿 1 部のほか、コピー 2 部、合計 3 部を提出する。その際、表・図は 3 部ともに鮮明なコピーを送ること (写真版については、写真原図版を写真に撮ったものか、または審査に使用し得る程度の鮮明なコピーとする)。再審査用の修正原稿を送付する場合は、最初の原稿送付時と同様、正本とコピー 2 部の合計 3 部を提出すること。審査終了後の最終原稿は、2 部をファイル名を明記したフロッピーディスクと共に送付する。表・図の原図は、掲載決定後の最終原稿とともに送付すること。なお、原図、表は原則として返却しない。返却希望の場合には、予めその旨を申し出るとともに、宛先を記入した返送用封筒を、最終原稿の送付時に必ず同封すること。

### 原稿の書き方

本論文は、①著者名と表題 (和英両方)、②所属と住所、③Abstract (英文で 250 語以内)、④英語のキーワード (5 語以内でアルファベット順)、⑤本文、⑥引用文献の順序で構成するものとする。短報は、①著者名と表題 (和英両方)、②所属と住所、③本文、④引用文献の順序で構成するものとする。本論文・短報は、英文の場合、さらに和文の摘要を付けること。また、場合により Appendix を付けることも可。また短報が和文の場合 Summary を付けることも可。ノート (雑録) は、英和両文で著者名と題名を付ける。

本文中で使用する単位は、国際単位系 (SI) に限る。図の説明文は、図中には入れ込まず、独立した原稿として用意すること。なお、全ての様式において脚注は用いない。

### 原稿の用紙

英文原稿は、A4 判用紙に上下 3 cm 程度、左右 2.5 cm 程度あけ、ダブルスペースで 25 行を原稿の 1 頁とする。和文原稿の場合は、原則として日本語ワードプロセッサを使用し、A4 判の用紙に周囲それぞれ 3 cm 程度の余白を取ったうえで、30 字×30 行程度を原稿の 1 頁として作成する。手書きの場合には、A4 判 400 字詰め原稿用紙を用いること。

### 図と写真

図および写真は、そのまま印刷できるようにレイアウトして、堅い A4 判の台紙にはりつけること。裏面には著者名と図番号、天地、縮小率を明記すること。写真は原寸大、図は 67% 縮小程度が望ましい。A4 判に納めることが不可能な植生表のような場合には、A4 に分割したコピーを添えること。図にはスケールを表

示し、図中の記号、数字には活字(写植を含む)をはりこむこと。図は原則として刷り上がりで 15 cm (頁巾)×19 cm 以内または 7 cm (半頁巾)×19 cm 以内(いずれも幅×高さ)であること。図表および写真の説明は、原則として英文とする。なお、図表は希望の挿入位置を原稿中に指示すること(著者による図表などの縮小率や位置の指定は、編集委員会において若干変更する場合があります)。カラー写真および特殊な図表は、実費を著者で負担する場合に限り掲載する。カラー写真の場合、1 枚(図 1 枚のことで、それが写真数枚からなっている可)につき 40,000 円かかります。

### 学名および標本庫の表示

学名は、属名および種形容語そしてそれ以下の分類群の形容語のみをイタリックで表示する。原則として、本文中では学名以外はイタリックを使用しない。学名は初出時に命名者名を付ける。学名の命名者名は、省略形を使用する場合、Brummit, R. K. and Powell, C. E. (eds.). 1992. *Authors of plant names*. 732 pp. Royal Botanic Gardens, Kew の表記を用いる。標本庫の略語は Holmgren, P. K., Holmgren, N. H. and Barnett, C. B. (eds.) 1990. *Index herbariorum* 8 ed. 693 pp. New York Botanical Garden, New York に従ってください。

### 文献の引用

引用文献は、本文中に引用した全てを記さなければならない。文献の配列順序はアルファベット順とし、一件ごとに改行する。すなわち、第 1 著者の異なるものはアルファベット順とし、姓が同じ場合は名のアルファベット順とする。第 1 著者が同一の場合には、単独のものを最初とし、そのあとは、第 2 著者の氏名のアルファベット順とする。第 2 著者も同一の場合には、第 3 著者以下について上記に準じる。著者が同一のものについては、発表の年代順とする。同一著者、同一年代のものは、年号のあとに小文字のアルファベットを付して、1999 a, 1999 b のように区別する。著者が 3 名以上で第 1 著者が同じである場合は、他の著者が異なっている時でも年号のあとにアルファベットを付して区別する。なお本文中での引用は、石川(1999)もしくは(Toyama 1999)のように著者名と発表年を用いる。なお著者が 2 名の場合、石川・富山(1999), (Ishikawa and Toyama 1999), 3 名以上の場合、石川他(1999), (Toyama et al. 1999) の形式を用いること。

a 雑誌の場合: 著者名(姓前名後とし、すべての著者名をあげる)、年号、論文表題、雑誌名、巻数(太字): 頁とし、通し頁でない場合のみ巻数の次に丸がって号数をあげること。

石川太郎. 1989. 日本産イネ科の系統分類. 地理分類研究 **25**: 33-42.

Ishikawa, T. and Toyama, J. 1990. Two new species of *Poa* (Gramineae) from Japan. *J. Jpn. Bot.* **65**: 4-12.

富山次郎. 1991. 富山県産イネ科目録. イネ科研究レター (52): 8-9.

b 単行本の場合: 著者名(aに同じ)、年号、表題、引用頁もしくは総頁数、発行所、発行地の順とする。なお発行地が複数の場合は一箇所のみとする。共同執筆や論文集、報告書等の場合、表題の後に共著者名もしくは編集者名、そして書籍表題を付け加えること。

福井三郎・新潟四郎. 1989. 日本海沿岸地域のエノコログサ属の生態. 日本海学会出版会(編). 日本海学会報告書, pp. 24-31. 日本海大学, 新潟.

石川太郎. 1981. イネ科の分類. 506 pp. 富山書房, 東京.

石川太郎. 1984. イネ科. 富山次郎(編). 日本植物誌 III, pp. 38-78. 石川出版, 金沢.

Ishikawa, T. 1985 a. *Taxonomic study of Asiatic Gramineae*. 1204 pp. Smith and Brown, New York.

Ishikawa, T. 1985 b. *Morphology in Gramineae*. Willson H.B., Clemens, A. C. and Backer, I.P. (eds.). *Gramineae in the world*, pp. 23-45. Academia, London.

富山次郎. 1984. ユリ科. 富山次郎(編). 日本植物誌 III, pp. 20-78. 石川出版, 金沢.

なお、引用文献を他言語表記にした場合、(in Japanese), (in Japanese with English summary), (in Russian), (in Chinese) 等を付記する。その他、原稿の体裁については最近号をよく参照のこと。

### フロッピーディスクの送付

最終原稿は、MS-DOS 形式のフロッピーディスクにテキスト形式で保存して提出すること。ただし、手書きの原稿については、その限りではない。なお、ワープロ機や日本語ワープロソフトで英文原稿を作成する場合、単語の終わりのところで改行を手動で入れるようご協力下さい。

### 校正

原則として、初校を著者が行い、第 2 校以降は編集委員会の責任において行うものとする。活字は編集委員会が指定するが、特に希望する箇所があれば、鉛筆で記入すること。



**校閲**

英文論文については、外国人の校閲を受けることがあり、その場合の実費は著者負担とする。

**別刷**

投稿者は必要とする別刷部数を最終原稿に明記すること。総説、論文、短報、ノートは50部は無料、それ以上については実費を徴収する。

**原稿送付先および編集に関する連絡先**

送稿や編集に関係した通信は 〒930-8555 富山市五福3190 富山大学理学部生物学科、植物地理・分類研究編集委員会宛。FAX (076-445-6549), E-mail (naruh@sci.toyama-u.ac.jp)。投稿の場合は封筒に「投稿原稿在中」と朱書すること。

**植物地理・分類学会****The Society for the Study of Phytogeography and Taxonomy**

会 長 (President)	鳴橋 直弘 (N. Naruhashi)
庶務幹事 (Chief Secretary)	木下栄一郎 (E. Kinoshita)
会計幹事 (Treasurer)	岩坪 美兼 (Y. Iwatsubo)

**幹 事 (Secretaries)**

古池 博 (H. Furuike)	太田 道人 (M. Ohta)
西沢 徹 (T. Nishizawa)	植田 邦彦 (K. Ueda)
野上 達也 (T. Nogami)	山崎 貴博 (T. Yamazaki)

**評議員 (Councilors)**

石沢 進 (S. Ishizawa)	大塚 孝一 (K. Otsuka)
御影 雅幸 (M. Mikage)	高橋 弘 (H. Takahashi)
中田 政司 (M. Nakata)	

入会申し込み、バックナンバーほか当会発行書籍についての問い合わせなどは会計幹事までお願いいたします。

(〒930-8555 富山市五福3190 富山大学理学部生物学科 岩坪美兼 TEL 076-445-6628 FAX 076-445-6549)

その他のお問い合わせは庶務幹事へお願いします。(〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学自然計測応用研究センター附属植物園 木下栄一郎 TEL & FAX 076-264-5874)

投稿に関するお問い合わせなど編集業務については編集委員長までお願いいたします。(〒930-8555 富山市五福3190 富山大学理学部生物 鳴橋直弘 TEL 076-445-6625)

## 植物地理・分類学会「入会案内」

## 入会方法

- 1) 本学会に入会を希望される方は、切り取り線より下の部分（コピーでも可）に情報を記入のうえ、郵便で郵送先に送ってください。
- 2) 同時か又は短期間内に、個人会員の場合は、年会費 4,000 円（学生会員 1,000 円）、団体会員は 6,000 円を、郵便振替口座 00760-0-904 番、植物地理・分類学会宛に振り込んでください。
- 3) 郵送先：  
〒930-8555 富山市五福 3190 富山大学理学部生物学科  
植物地理・分類学会  
TEL 076-445-6628  
FAX 076-445-6549

..... 切り取り線 .....

年 月 日

ふりがな  氏 名	英語表記：  生年月日                      年                      月                      日
所 属： 同上住所：〒 電 話：	FAX： E-MAIL：
自宅住所：〒 電 話：	FAX： E-MAIL：
会誌送付先（どちらかに○）	勤務先                      自宅
「現在取り組んでいる研究課題，興味のある分類群・地域」について： （キーワードで 5 語以内でお願いします）	

## CONTENTS

### Abstract for the lecture of the society meeting

Susumu Okitsu : Phytogeographical relationships of major plant communities in vertical distribution of Hokkaido to those of the Russian Far East .....	121
Takehiro Masuzawa : Mountain topography and plant distribution on alpine zone : Mt. Fuji, Mt. Shirouma, Yatsugatake Mountain range and Mt. Apoi .....	131
Hideyuki Ida : Why does beech dominate in forests receiving heavy snow? : A discussion from the viewpoint of leaf phenology .....	139

### Articles

Shozo Hiroki and Takahiro Kamiya : Discrimination of hybrids between <i>Quercus variabilis</i> and <i>Q. acutissima</i> by using stellate hairs, and analysis of the hybridization zone in the Chubu District of central Japan .....	145
Naohiro Naruhashi, Hirotaka Seki, Yasuo Yakura, Yukiyasu Nagata and Yoshikane Iwatsubo : Cytogeography of <i>Duchesnea</i> (Rosaceae) in central Japan .....	153
Takayasu Kitagawa : Analysis of heavy metals in <i>Athyrium yokoscense</i> growing at Tada-Ginzan in Hyōgo Prefecture .....	161
Norikazu Yamanaka, Hidetoshi Nagamasu, Masayoshi Umabayashi : Seedlings of woody plants in The Kyoto University Forest in Ashiu, 8. Elaeagnaceae, Tiliaceae and Araliaceae .....	167
Tomokazu Tani : Characteristics of clonal growth and sexual reproduction in <i>Veratrum album</i> subsp. <i>oxysepalum</i> .....	181

### Short communications

Kunio Kayama : <i>Commelina diffusa</i> var. <i>major</i> (Commelinaceae), a new variety from Okinawa ....	187
Hajime Okuno, Masashi Nakata, Masahiro Mii and Toshiaki Shiuchi : A note on the karyotype of <i>Farfugium japonicum</i> (Asteraceae) .....	191
Norihito Miura, Yoshikane Iwatsubo and Naohiro Naruhashi : Chromosome numbers of five species of <i>Lamium</i> (Labiatae) in Japan .....	197
Yoshikane Iwatsubo and Koichi Otsuka : Chromosome numbers of Japanese <i>Symplocarpus</i> (Araceae) .....	203
Kensei Akai, Nao Miyake, Naoto Sannomiya, Shiro Kobayashi and Hidetoshi Nagamasu : A new locality of <i>Gratiola fluviatilis</i> (Scrophulariaceae) and its habitat condition in Muroto City, Kochi Prefecture, Japan .....	207

### Miscellaneous notes

Mitsumasa Hashimoto : Short observation of habitat and regeneration system of broadleaf forest on rocks .....	212
Takashi Muranaka, Tomoyoshi Enomoto, Akiko Hirata, Masato Ohtani, Kazuo Obata and Yasushi Watanabe : A new locality of the critically endangered plant <i>Deinostema adenocaulum</i> (Scrophulariaceae) in paddy fields, Ibaraki Prefecture .....	217

Book reviews .....	219
--------------------	-----

Titles of articles in other botanical journals .....	223
--	-----

Announcements .....	227
---------------------	-----

### 編集委員会 (Editorial Board)

編集委員長 (Editor-in-Chief)	鳴橋 直弘 (Naohiro Naruhashi, Toyama)
主任編集委員 (Managing Editor)	岩坪 美兼 (Yoshikane Iwatsubo, Toyama)
古池 博 (Hiroshi Furuie, Kanazawa)	中田 政司 (Masashi Nakata, Toyama)
福岡 司 (Tukasa Hukusima, Tokyo)	清水 建美 (Tatemi Shimizu, Matsumoto)
河野 昭一 (Shoichi Kawano, Kyoto)	鈴木 三男 (Mitsuo Suzuki, Sendai)
菊池多賀夫 (Takao Kikuchi, Yokohama)	和田 直也 (Naoya Wada, Toyama)
木下栄一郎 (Eiichiro Kinoshita, Kanazawa)	綿野 泰行 (Yasuyuki Watano, Chiba)
北川 尚史 (Naofumi Kitagawa, Nara)	Madjit I. Hakki (Berlin, Germany)
小島 寛 (Satoru Kojima, Tokyo)	Frederick H. Utech (Pittsburgh, U.S.A.)

2005 年 12 月 30 日発行	編集発行人	〒930-8555 富山市五福	富山大学理学部	鳴橋 直弘
	発行所	〒930-8555 富山市五福	富山大学理学部	生物学科内
				植物地理・分類学会
	印刷所	〒920-0855 金沢市武蔵町 7 番 10 号		能登印刷株式会社